

(別記様式第 15 号)

## 平成 30 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

箕輪町

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	景観形成事業
事業費 1,142,640 円 (うち支援金: 986,000 円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

主要道路沿線の森林内に主林木以外のアカシヤ等が生育し景観を損ね、また主要道路への倒木が多発している現状。私有林が多く林業経営に適さない森林であり、森林所有者の関心は薄い森林である。

#### (2) 本事業の目的

森林内の除伐や下刈りを実施することにより、森林の景観形成、主林木の育成や倒木の予防を目的とし、森林の適正管理に資する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所：主要地方道伊那辰野停車場線沿線の私有林

(2) 対象者：森林所有者の同意を得て、箕輪町

(3) 実施方法：主要道路沿線の森林所有者に同意を得たのち、主林木以外を除伐し下刈りを実施し景観形成を図る。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成 30~34 年度)：5,000,000 円(年 1,000,000 円)

②平成 30 年度実績：1,142,640 円



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

除伐等を実施することにより、森林整備の重要性を森林所有者に理解させ、森林経営に意欲を持たせるとともに、景観形成が図れる。

### (2) 継続性

里山整備利用区域の選定。

里山利用推進協議会活動として、景観形成事業への移行。

### (3) 普及性

景観形成が行われ、多発していた倒木による通行止の解消。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

主要地方道伊那辰野停車場線沿線の景観形成が行われ、主林木の育成や倒木防止に効果

### (2) 課題

事業箇所が広範囲のため、効率的かつ経済的に実施していくための検討が必要

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

平成31年度から県の制度が変更されることに伴い、三日町福与地区里山整備利用推進協議会(設立準備中)での防災・減災のための里山整備事業に移行予定。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)